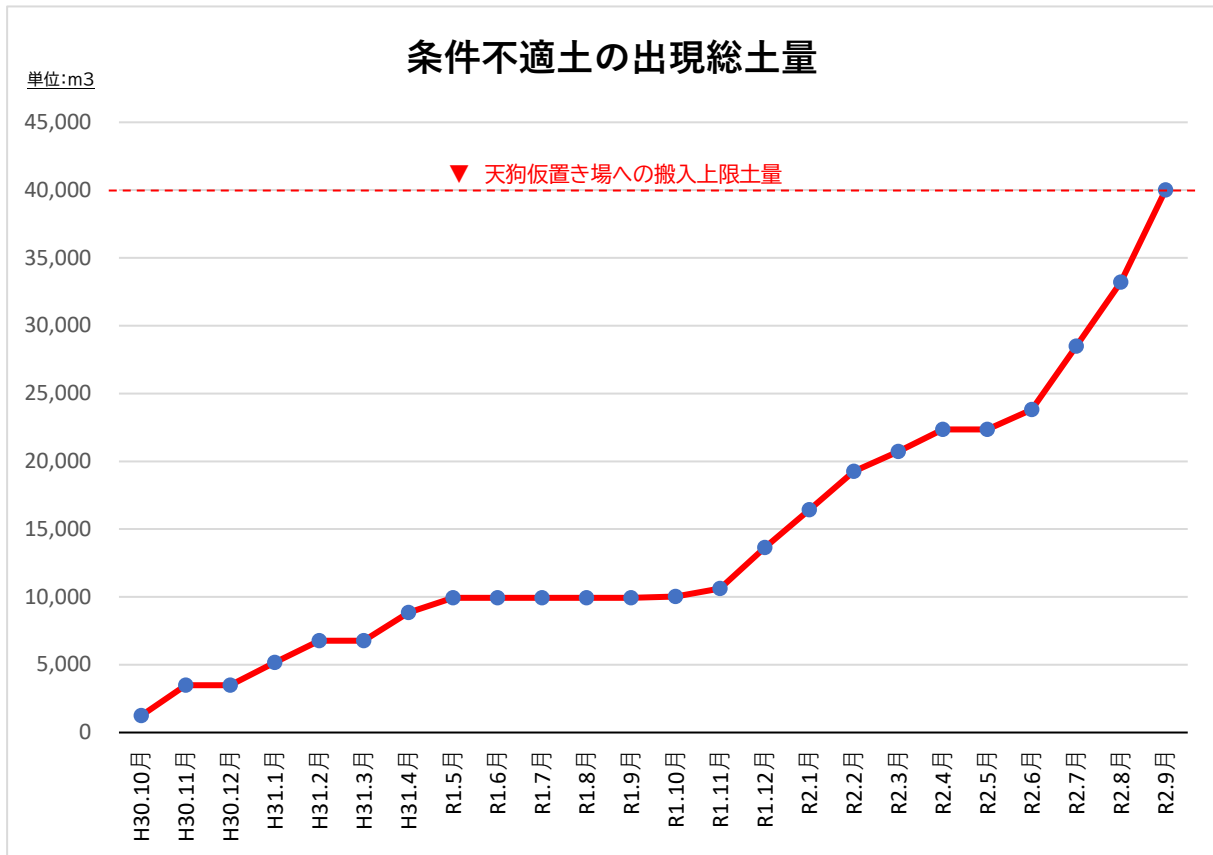


令和 2 年 9 月 17 日

**新幹線工事の一時中止について**  
～北海道新幹線、渡島トンネル(台場山、天狗、南鶉)～

時系列整理表

年 月	事 象
H30.10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●村山受入地への搬入条件に適さない対策土(以後、「条件不適土」という)が出現することが判明。</li> <li>●渡島トンネル(天狗)工区の作業ヤード内にある仮置き場(以後、「天狗仮置き場」という)を活用することとした。</li> </ul>
R1.7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北斗市へ対策土を仮置きしていることを報告。</li> <li>●北斗市による仮置きの現地確認を行い、管理方法の安全性について確認された。</li> <li>●出現する見込みは天狗仮置き場で収まると推定。</li> </ul>
R2.6 月下旬 ～ R2.7 月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>●台場山工区、天狗工区の施工中ボーリングの結果から、一部であるが条件不適土の出現が確認されたことや、南鶉工区の出現実績が増大傾向にあったことを含め、天狗仮置き場では収まらない可能性が高まった。</li> <li>●最悪の場合を想定し、新たな仮置き場の整備が必要だと判断したが、他工区の作業ヤードでは仮置き出来るスペースがないため、場外仮置き場を整備することが前提となり、北斗市に報告と相談を行った。</li> <li>●北斗市見解では、場外仮置き場新設には市民への適切な説明を要するため、下記の案件を明確にすることが提示された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 最終的な対策方法が不明瞭であり、進捗の状況や方向性を示すこと。</li> <li>② 場外仮置き場での管理体制、安全性が万全の体制であるかなどの確認が不十分であること。</li> </ul> </li> </ul>
R2.8 月 下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南鶉工区の施工中ボーリングの結果より、連続して条件不適土が確認され、天狗仮置き場に収まらない土量が発生することが判明。</li> </ul>
R2.9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●9/3(木)、北海道局 依田局長が北斗市に来庁。 (※進捗状況と場外仮置き場整備について、池田市長と面談)</li> <li>●天狗仮置き場は、早ければ、9 月末時点で満杯となり、工事一時中止の回避は困難な状況となった。</li> </ul>



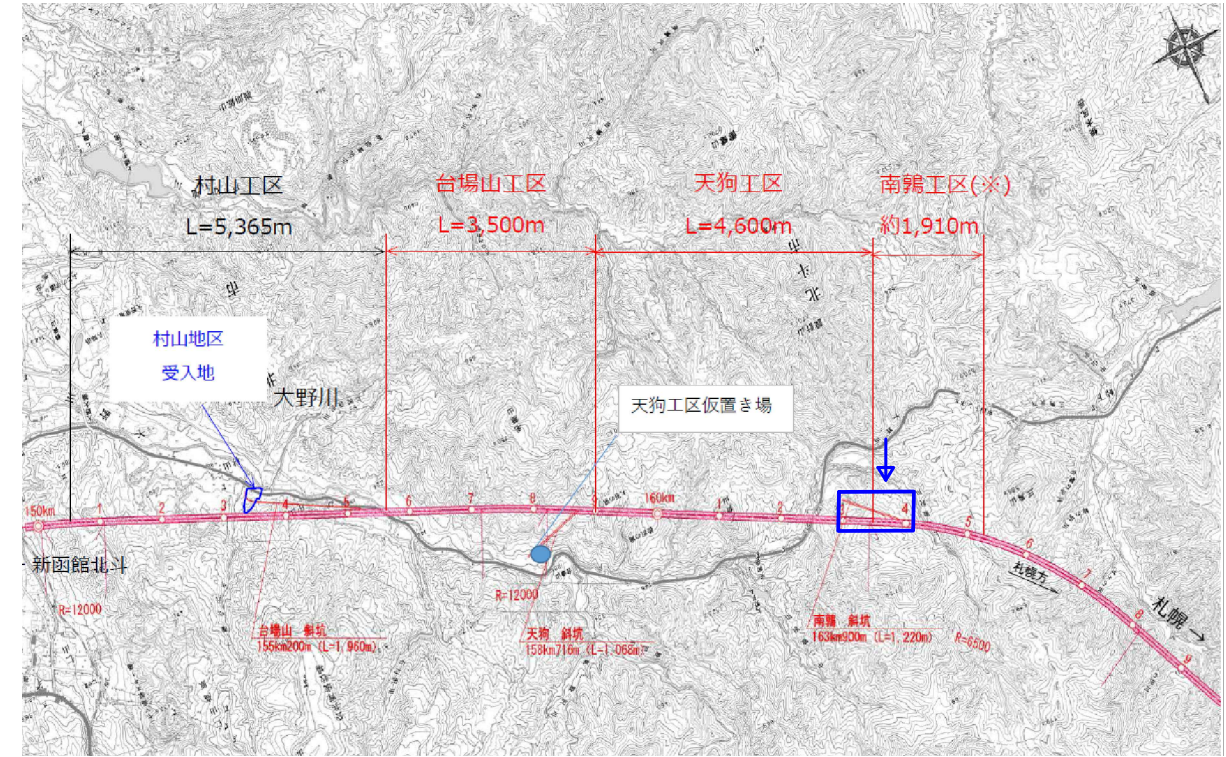
各工区の工程 (推定含む)

— : 条件不適土

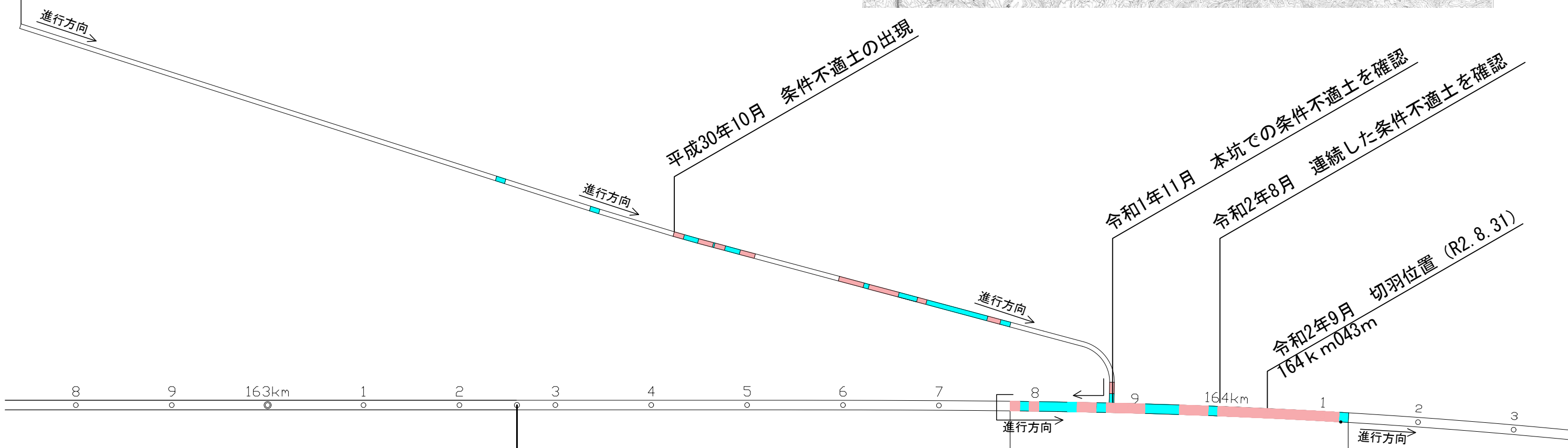
	R 2 年度				
	9月	10月	11月	12月	1月
<b>台場山</b> (掘削: H30.6月~)	掘削 (対策土) 15m ※内、一部条件不適土		掘削 (無対策土) 45m		
		●施工中 B r	掘削 (無対策土 or 対策土 or 条件不適土)		
<b>天 狗</b> (掘削: H28.12月~)	掘削 (対策土) 30m ※内、一部条件不適土		掘削 (無対策土) 110m		
		●施工中 B r	掘削 (無対策土 or 対策土 or 条件不適土)		
<b>南 鶉</b> (掘削: H29.9月~)	掘削 (条件不適土) 50m ※50m掘削後の30m間は条件不適土であることは調査済み。				

※場外仮置き場の造成は、2~3か月を要する。

# 渡島トンネル（南鶉）平面図



斜坑入り口 (平成29年9月掘削開始)



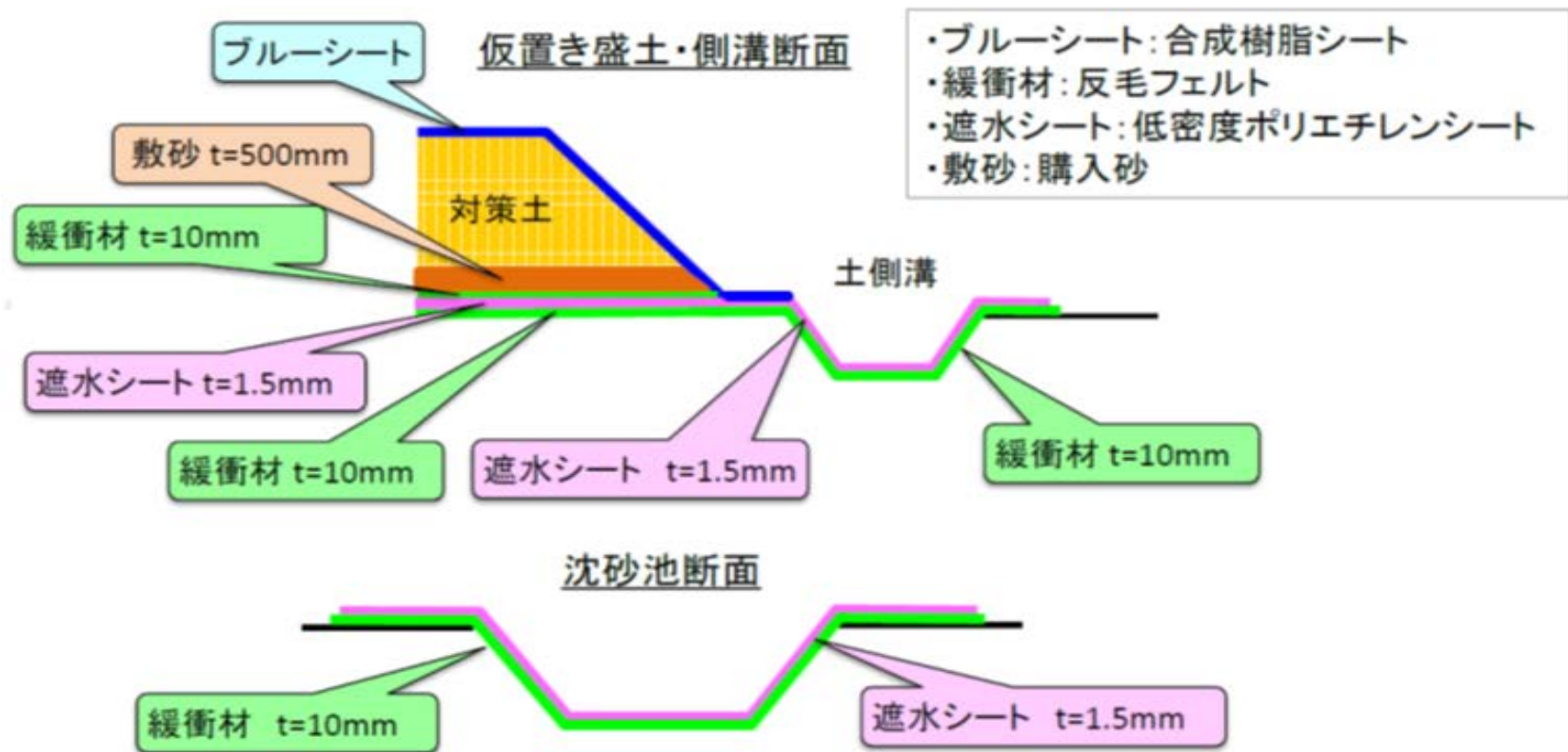
- 凡例
- 無対策土
  - 対策土
  - 条件不適土

← 天狗工区      南鶉工区 →



## 対策土仮置き方法の一例

- 地盤の下から上の順に緩衝材、遮水シート、緩衝材を敷設し、その上に敷砂50cm敷設し、盛土からの浸出水の地中浸透を防ぐ
- 作業終了後、盛土の上をブルーシートで覆い、土の飛散や雨水の浸透を防ぐ





北斗市による現地確認状況

場所:天狗仮置き場

令和1年7月30日



仮置き土量:約1.0万m<sup>3</sup>

令和1年7月30日



仮置き土量:約3.4万m<sup>3</sup>

令和2年9月10日